

2024年10月28日

藤沢市スポーツシンポジウム2024

テーマ「きずな～スポーツを通してできること」

林 但

10月27日(日)藤沢市市民会館小ホールで表記は開催されました。今年で3回目のシンポジウムとパネルディスカッションに(株)HIRAKU代表取締役/元ラグビー日本代表キャプテンの廣瀬俊朗氏(藤沢に在住6年)を招き行なわれました。会場にはスポーツ関係者、障害者関係、一般の方など300名?近い方が来場されていました。

第一部 基調講演「きずな～ラグビー日本代表を通して学んだチーム作り」

- ・5歳からラグビーを始めた、大阪はラグビーが盛んで中学生の時に選抜チームの一員に選ばれ、上手くなりた
い一心で取り組んだ。
- ・試合相手の国歌を歌う活動を2019年ワールドカップ前から行っている、選手の時から相手の国の事を色々
知ることも行っている。おもてなし 対戦相手の国のことば(あいさつ)、国を知ろう、お互いを知ろう。
今でも日本代表は2回/週国歌の練習もしている。
- ・なんのために頑張る → みんなの憧れの存在になるため
目的意識をひとつにまとめる リーダーシップグループがある。ラグビーは自分たちでその場で判断が求められる。試合中はキャプテンや10番を中心に行い、短い時間で意見をいうことも行っている。
- ・ラグビーで多様性を学んだ。今は車イス、ブラインドなどのラグビーを含めワンラグビーを進めている。

第二部 パネルディスカッション

- ★種田多化子さん(藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会会長) 30年前から義足
自分から障がい者施設に相談に出かけられ、人生が大きく変わる。今、障がい者スポーツ団体のネットワーク化、イベントカレンダーと開催などに尽力。
- ★濱田琉誠さん(鎌倉高校1年 スポーツライミング) きっかけは体験会に参加、今はこれ1本
あと1年位したら世界大会などで活躍、今はシニアの大会に年齢制限で出られない。考え方、取り組む姿勢などが良い。
- ★青山未来さん・小田原碧海さん(鵜沼中学校 3年 陸上競技 1500m他 駅伝) 部の明るい雰囲気、楽しい。

二人から何度も出た言葉に「楽しい、雰囲気が良かった」が印象的。今子供の体験会や市民マラソンほかでも裏方で活動されている。

*みなさんの話を伺っていて感じたことは①明るい雰囲気・伸びのびやらせる②他の学校や団体など連携 ③費用などサポートと情報発信が大切なように感じた。



ポスター



講演風景



ディスカッション風景